

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	准教授	氏名	江上 千代美
----	-------------	----	-----	----	--------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

「目は心の鏡」に、代表されるように、目の動きは人の精神生理的な指標であり、目の動きにはさまざまな人の行動理解や支援の手がかりが含まれています。現在はこの目の動きを基に、発達障害の対人的視覚認知機能障害や不注意等の解明と支援につながる研究を行っています。また、今まで行ってきた目の動きの研究を医療安全教育に応用する研究を始めました。さまざまな看護場面におかれたときに看護師や看護学生はどのような目の動きをするのか、教育や経験により異なるのかという検討を基に、どのような医療安全教育の必要性があるのか、どのような集団教育および個人教育につなげる必要があるのか課題提示と支援プログラム開発の取り組みを始めました。

発達障害児・者の認知機能評価である CogHealth を用いて、①健常児の発達、②注意欠陥多動性障害の特徴、③行動療法および薬物療法の効果等について検討しています。これらの知見をもとに、注意欠陥多動性障害をもった人および保護者への生活支援につなげる取り組みを行っています。

冷え症・便秘・不眠等に効果があるといわれる温罨法の研究を行っています。「温める」ことの生理的反応をさまざまな角度から検討し、安全な温罨法の適用範囲と日常生活支援につながる温罨法の基礎研究を行っています。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

<論文>

- ・江上千代美, 田中美智子, 近藤美幸, 江上千代美, 室弥雅子, 続米佳子, 松本佐登弥, 松林史恵, 福田恭介, 看護場面における学生の危険認知と眼球運動との関係 印刷中
- ・Yushiro Yamashita, Akiko Mukasa, Chizuru Anai, Yuko Honda, Chie Kunisaki, Junichi Koutaki, Yahuiro Tada, Chiyomi Egami, Naoko Kodama, Masayuki Nakashima, Shin-ichiro Nagamitsu, Toyojiro Matsuishi: Summer treatment program for children with attention deficit hyperactivity disorder: Japanese experience in 5 years. Brain Dev. 33, 260-7, 2011.
- ・江上千代美, 森田喜一郎, 石井洋平, 山下裕史朗, 松石豊次郎. 笑顔図の探索眼球運動から類推される対人性視覚認知機能の発達, 脳と発達 42(5):340-5, 2010.
- ・江上千代美, 森田喜一郎, 石井洋平, 大矢崇志, 山下裕史朗, 松石豊次郎. アスペルガー障害児と健康児における探索眼球運動の比較検討, 臨床神経生理学, 38:63-70, 2010.
- ・Egami C, Morita K, Ohya T, Ishii Y, Yamashita Y, Matsuishi T: Developmental characteristics of visual cognitive function during childhood according to exploratory eye movements. Brain Dev. 31(10), 750-7, 2009.
- ・江上千代美, 森田喜一郎, 石井洋平, 山下裕史朗, 松石豊次郎. 探索眼球運動評価による小児期の視覚認知機能の特徴, 臨床神経生理学 35 (6), 479-486, 2008.
- ・江上千代美, 日隈眞智子, 自己効力感が授業過程評価に与える影響, 日本看護学校協議会雑誌 163-164, 2008.
- ・江上千代美. 看護学生の首尾一貫感覚と精神的健康度との関係. 日本心身健康学会 4(2), 43-48, 2008.

### ②その他最近の業績

- ・江上千代美, 田中美智子, 近藤美幸, 福田恭介(2011). 眼球運動指標を用いた看護学生の臨地実習体験と危険認知との関係, 日本看護技術学会, 東京.
- ・江上千代美, 田中美智子, 近藤美幸, 福田恭介(2011). 危険認知と眼球運動との関係, 看護人間工学部会, 東京.

- ・ 江上千代美, 近藤美幸, 長坂 猛, 井垣 通人, 田中美智子 (2010) . 下腹部温罨法と腰部温罨法が生理的反応に及ぼす効果の検討, 日本看護技術学会, 名古屋.
- ・ 近藤美幸, 江上千代美, 長坂 猛, 井垣 通人, 田中美智子 (2010) . 腰部温罨法がもたらす体温変化と循環反応, 日本看護技術学会, 名古屋.
- ・ 田中美智子, 近藤美幸, 江上千代美, 長坂 猛 (2010) . 卵胞期と黄体期における入眠時の自律神経反応, 日本看護技術学会, 名古屋.
- ・ 長坂 猛, 近藤美幸, 江上千代美, 田中美智子 (2010) . 高齢者における入眠時の自律神経反応—2事例—の検討, 日本看護技術学会, 名古屋.
- ・ 江上千代美, 森田喜一郎, 石井洋平, 大矢崇志, 山下裕史朗, 松石豊次郎. 探索眼球運動評価によるアスペルガー障害の対人的視覚認知機能, 脳と発達, 日本小児神経学会, 福岡.
- ・ 江上千代美, 森田喜一郎, 石井洋平, 大矢崇志, 山下裕史朗, 松石豊次郎. 探索眼球運動評価によるアスペルガー障害の対人的視覚認知機能, 脳と発達, 日本小児神経学会, 福岡.
- ・ 江上千代美, 山下裕史朗, 中島範子, 澁谷郁彦, 原宗嗣, 大矢崇志, 中島正幸, 河野敬子, 永光信一郎, 松石豊次郎. ADHD 児への STP (サマー・トリートメント・プログラム) の効果, 日本小児神経学会, 福岡.
- ・ 江上千代美, 山下裕史朗. 「CogHealth : ADHD バッテリー」を用いた健常児の認知機能の発達. 日本 LD 学会, 愛知.

### ③過去の主要業績

- ・ Sachiko Nishiura, Youko Nakashima, Keiichiro Mori, Takayuki Kodama, Satoshi Hirai, Takatsugu Kurakake, Chiyomi Egami, and Kiichiro Morita. A life span study of exploratory eye movements in healthy subjects : Gender Differences and Affective Influences, The Kurume Medical Journal, 54, 65-72, 2007.
- ・ 立松康弘, 森田喜一郎, 川辺千津子, 中島洋子, 岡本泰弘, 江上千代美, 小路純央, 情動関連眼球運動を精神生理学的指標にしたうつ病患者の寛解過程、久留米医学会雑誌、70, 361-368, 2007.

### 3. 外部研究資金

- ・ 奨励研究 (プロジェクト研究)
- ・ 科学研究費(基盤 C)

### 5. 所属学会

日本臨床神経生理学会会員、日本小児神経学会会員、日本 LD 学会会員、日本看護学教育学会、会員、日本看護研究学会会員、日本看護技術学会会員、日本人間工学会看護人間工学部会員

### 6. 担当授業科目

<学部>

実験看護学演習・1 単位・2 年次・前期, 生態機能看護学 I ・2 単位・1 年次・前期, 生態機能看護学 II ・2 単位・1 年次・後期, 教養演習・1 単位・1 年次・前期, 総合実習・2 単位・4 年次・前期, 専門看護学ゼミ・2 単位・4 年次・前期, 卒業研究・2 単位・4 年次・前期

<大学院>

実験看護学特論・2 単位・大学院 1 年次・前期, 実験看護学演習・2 単位・大学院 1 年次・後期

### 9. 附属研究所の活動等

- ・ 久留米大学小児科学
- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員
- ・ 不登校・引きこもりサポートセンター